

◆スペシャルオリンピックス日本・大分のボランティア活動において◆

1. ボランティア活動を通して知った個人情報を他言しないでください。
2. 約束した日時は守って下さい。…都合が悪くなったら出来るだけ早くご連絡を。
3. 無理はしないように。…ゆとりを持って楽しんで参加をしてください。体調が悪いとき、事情があるときは、無理をしないことです。
4. 未成年者のボランティアの方は、必ず保護者の同意(同意書)を得てからご参加下さい。(必須)
5. ボランティア参加説明を必ず受けてから活動に参加するようにして下さい。(必須)

◆スポーツプログラム参加にあたっての注意事項◆

1. スポーツプログラム参加者は必ず運動できる服装(ジーンズ不可)でご参加ください。
【履物】屋外競技:運動靴(ボウリングはシューズレンタル可) 屋内競技:体育館履き
2. 健康管理は自己責任の下でお願いいたします。(活動中の水分補給も忘れずに)
3. プログラム中の行動については、各プログラムの担当者(チーフコーチ)の指示に従ってください。
4. 写真撮影を行う場合は撮影許可が必要です。あらかじめ担当者(チーフコーチ)に許可をとってください。
5. プログラム中の紛失物・盗難に関しての責任は負いかねますので、自己管理願います。
6. ケガや具合が悪くなったら…
◇プログラムのチーフコーチあるいはマネージャーに伝え、無理をしないでください。

※SO日本・大分では、プログラム参加者を対象に保険をかけております。

◆アスリートを理解するために◆

基本的なボランティアの姿勢

(以下の項目を頭に入れて、参加してみてください)

1. 同情ではなく愛情で接する。
2. 共に楽しむ。
3. 障害を障害としてではなく、性格や個性としてとらえる。
4. 手をかけすぎない、自分のことは自分でしてもらう。
5. 根気良く待つ。(すぐに結果を求めない。)
6. 指示は具体的に。(上下、左右、あそこ、などの指示語の指す場所が分からない場合がある。)
7. 個々の特性に配慮する。
例)大きくひびく声によわいアスリートがいる。
体の接触をいやがるアスリートが多い。
8. ほめるとき、注意するときは、直ぐに。(後からでは、分からない場合がある。)
9. メリハリのあるほめ方を。(何でもほめたらよいわけではない。)
10. 「叱らないけど譲らない」態度で対応する。

…アスリートの意思に反した時でも、譲歩できない事はしっかりとした態度で。

困った時の対応

1. 一度に多くの人が声かけしない。(刺激の量を減らす。)
2. 自分が上手くいかない時には、違う人に代わってもらうことも大切です。

※不明点などは、遠慮せずにプログラムの担当者や他のコーチに聞いてください。